



鳥取県立美術館 開館 1 年前カウントダウンイベント

3/31 「どどこ！巨大紙相撲 ～とっとりけんび場所～」

各地での巡業を経て、いよいよ本場所、鳥取県最強のダンボール力士が決まる！

2025 年 3 月 30 日に開館する鳥取県立美術館は、開館 1 年前カウントダウンイベント「どどこ！巨大紙相撲※ ～とっとりけんび場所～」を開催します。

「巡業」と呼ばれるワークショップでは、県内全 5 か所にて、ダンボールで等身大の力士をチームで制作しました。「本場所」では、各会場から集まった個性豊かな力士たち・総勢 32 体は、最強力士を目指して、チームで土俵をたたいて対戦します。大相撲さながらの呼び出し、行司、実況解説や谷町（賞品協賛・59 社、懸賞幕を本場所舞台で披露）に加え、司会に丸山聡美アナウンサー（山陰放送）を迎えるなど、とっとりけんび流「どどこ！巨大紙相撲」の開催です。当日は、鳥取城北高校相撲部による応援動画、同高・女子相撲部による指導、打吹童子ばやしの太鼓披露なども予定しています。

また、3 月 23 日（土）（予定）に 32 体の「力士名鑑」をプレサイトに公開します。「力士名鑑」からお気に入りの力士に一票を投じる「人気投票」や、一番強そう！と思う「優勝・準優勝力士予想」など、“する・みる・ささえる”といった多様な形で参加できます。

相撲という身近な娯楽をきっかけに、多くの方々にアートの楽しさに触れていただき、開館 1 年前のこのひと時を、地域の皆さんとともに盛大に作り上げます。

ぜひ、ご取材や媒体でのご紹介を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

※「どどこ！巨大紙相撲」は美術家ユニット KOSUGE1-16（こすげ・いちのじゅうろく）によるワークショッププログラムです。鳥取県および中国地方では初の開催となります。

名 称 | 鳥取県立美術館開館 1 年前カウントダウンイベント「どどこ！巨大紙相撲 ～とっとりけんび場所～」
講 師 | 土谷 享（つちや・たかし | KOSUGE1-16）
日 時 | 3 月 31 日（日）13:00～16:00（開場 12:30）
会 場 | 倉吉未来中心・小ホール（鳥取県倉吉市駄経寺町 212-5）
※申込不要・観覧自由
主 催 | 鳥取県立美術館パートナーズ、鳥取県教育委員会
後 援 | とっとりプラットフォーム 5+α、認定 NPO 法人未来、鳥取県桜友会、伯桜嶋倉吉後援会
協 力 | 県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会 盛り上げ部会、とっとり県美応援団
あいサポート・アートセンター、鳥取城北高等学校相撲部、倉吉銀座商店街振興組合
協 賛 | 三和段ボール工業株式会社

※詳しくは別添のチラシをご覧ください。

最新情報はプレサイト(<https://tottori-moa.jp/news/5157>)をご確認ください。



【参考1】本場所司会プロフィール

丸山聡美
(まるやま・さとみ)

山陰放送アナウンサー
鳥取県琴浦町出身、米子市在住

<略歴>

鳥取大学教育地域科学部地域政策課程卒

2007年 山陰放送入社

BSS ラジオ4月1日スタート新番組「ラフリー！」を担当（月～木曜・ひる1時～）

これまでに「生たまご Bang!」「テレポート山陰」「午後はドキドキ」などを担当



【参考2】巡業の様子



①わらべ館・いべんとほーる(鳥取市)



②隼ラボ・体育館(八頭町)



③境港おさかなパーク・大研修室(境港市)



④キナルなんぶ・多目的室(南部町)



⑤上灘コミュニティセンター・大会議室(倉吉市)

【参考3】本場所関連情報

- ▶ 谷町：詳細掲載ページ(<https://tottori-moa.jp/event/5510/>)
- ▶ 力士名鑑：公開は3月23日(土)を予定。詳細が決まり次第、プレサイトにてお知らせします。

【参考4】関連企画の様子

関連企画として、講師のKOSUGE1-16・土谷氏によるアーティストトークを開催しました。

開催日：2024年2月25日(日) 13:00-15:00

会場：打吹回廊 チュウブコミュニティホール(鳥取県倉吉市明治町 1032-19)

詳細はプレサイト(<https://tottori-moa.jp/news/5467/>)をご覧ください。



当日の様子



【参考5】講師プロフィール

KOSUGE1-16 / 土谷享
(こすげ・いちのじゅうろく / つちや・たかし)

全国各地で参加型の作品を通して、
人々の中に「もちつもたれつ」という関係をつくりだすアーティスト

<略歴>

1977年埼玉県生まれ
2001年多摩美術大学絵画科油画専攻卒業

<近年の主なプロジェクト>

Playmakers 台北“彭丹群島”/台北パフォーミングアーツセンター/2022、未完星[mikən-sei]/不知火美術館/2022、
インバウンドおじさん/八戸市美術館/2021、LEFTOVERS/瀬戸内国際芸術祭/2019、Sawachi Project/Firstsite
(イギリス)/2019、モチ Ω スクランプル/高知県立美術館/2018、その他多数

<コレクション>

金沢 21 世紀美術館、市原湖畔美術館



撮影：427FOTO

【参考6】広報用画像の掲載について

- 掲載用の広報用画像をご要望の方は、ご一報ください。掲載時は、既定の表記をお願い致します。(開催年度が異なる画像がありますので、ご注意ください)
- 可能であれば、事前に掲載内容を確認させていただけると幸いです。



キャプション:2023年 どんどこ!巨大紙相撲`北斎すみゆめ場所` / 撮影:427FOTO



キャプション:2022年 どんどこ!巨大紙相撲`北斎すみゆめ場所` / 撮影:427FOTO

イベントチラシ

鳥取県立美術館 開館1年前 カウントダウンイベント
子どももおとなも わいわい! どんどこ! ホンモノカシサイズの紙相撲大会

巨大紙相撲
どとりけんび場所

鳥取県内最強のダンボールカシが決まる

本場所 3月31日
日曜日 13時～16時

会場 倉吉未来中心小ホール

鳥取県立美術館パートナーズ運営担当
大黒 大輔 (0858-27-0771) info@tottori-moa.jp

みんなの気持ちが入った! 優勝カシや参加カシへの賞品も提供してどとりけんび場所を応援してください!

主催 鳥取県立美術館パートナーズ、鳥取県教育委員会、後援 どんどこプラットフォーム5-0、認定NPO法人未来、鳥取県桜友会、信託協会吉野達也、協力 県立美術館と共に歩む! 中部地区の集い! 協議会 富り上げ協会、どんどこ県民会館、あい号ポートアートセンター、鳥取県北高等学校相撲部、倉吉銀座商店街振興組合、協賛 三和総ホール工業株式会社

2025年3月30日現在!

鳥取県立美術館 TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

鳥取県立美術館 開館1年前 カウントダウンイベント
どんどこ! 巨大紙相撲 どとりけんび場所

新入賞は身長180センチの巨大カシたち。個性豊かなカシたちは見所満載。地元の名産もひそひそカシをのっけて頂戴。目指すは千秋賞の大一番。仲間としてオリジナルカシを作ろう。3月31日の本場所に出場しよう。そして1年後の2025年3月30日には鳥取県立美術館が開館しますよ。さあ、待たない! はっけよい!

巡業 カシ制作ワークショップ
参加者、大募集!

ダンボールで等身大の大きなカシをつくる。運葉を鳥取県東部・中部・西部の各場所の会場で行います。大相撲ながらの本場所。観戦も目指そう!

【対象】子どもからお年寄りまで
【料金】子どもは無料、大人は500円
※小学生以下の方は大人と一緒していただきます。
※本場所には参加できません。
※3月1日入館券の申し込みが必要です。
※お問い合わせ先はこちら

【定員】各会場、4名ずつ
※定員に達した場合は抽選

3月17日(日) 10時～12時
施設おさかハーク(施設予約あり)

3月20日(水) 10時～12時
上瀬コミュニティセンター(倉吉市大瀬町9-1)

3月17日(日) 14時半～16時半
キナルなんふ(石見町南町10番11)

3月16日(土) 14時半～16時半
米Lab.(八頭町八頭町北中1-2)

3月17日(日) 14時半～16時半
キナルなんふ(石見町南町10番11)

3月18日(月) 13時～16時
倉吉未来中心(倉吉市東町4-233)

参加方法 【巡業】①-⑤のワークショップの中からひとつ選が、WEBフォームまたはお電話にてチームごとにお申し込みください。(3月4日16:00まで)締切後3日以内を目安に抽選し、結果を皆さまにご連絡します。
【本場所】観覧はどなたでもできます。直接会場にお越しください(入場自由)

参加費 無料

問い合わせ 鳥取県立美術館パートナーズ 運営担当
メール info@tottori-moa.jp 電話 0858-27-0771 (受付時間 平日9:00-17:00)

ワークショップ講師 土谷 享 (KOSUGEI+16)
全国各地で参加者の作品を通して、人々の心に「もちつたれつ」という言葉をのびのびとアーティスト。

どんどこ! 巨大紙相撲は、夏祭りのイベントとして、16によるワークショッププログラムです。